
新撰組

彩歌 & 罪代

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

新撰組

【Nコード】

N73600

【作者名】

彩歌&罪代

【あらすじ】

なぜか、女の方が多い新撰組。

そんな、新撰組の話。

楽しんでもらえるように頑張るので、楽しんでもらえたら幸いです。

一話 山崎詩諳目線（前書き）

「青空の下で」などを書いている、”彩歌”とその友達”罪代”二人による話です。

二人で二人三脚のように書くので、楽しんでもらえるように頑張ります！！

なので、呼んでもらえると幸いです。

お暇がある方は、「青空の下で」も見て下さったら幸いです。

一話 山崎詩諳目線

ここは新撰組。

私は新撰組監察方、やまさき しあん山崎詩諳

江戸時代…ではないけど、江戸時代のように…というより時代が戻った(？)かんじの侍がウロウロしてる中で出来た新撰組。でもなぜか女が多い…

「沖田隊長。路上駐車が。」

「あ。ほんとだ。」

この人、おきた こうな沖田琴菜

新撰組、一番隊員隊長。

今、私は沖田隊長と見回り中。

そして路上駐車の取り調べ中…

あくまでも戻っただから車などがたくさん走っているのだ。

「あ…」

路上駐車の人が帰って来た。

そして色々取り調べをして、「もう止めないように…。」と沖田隊長が見送った。

「路上駐車が増えたね…」

「そうだね…」

沖田隊長と話していると、

「さっきの、路上駐車か？」

「そうだよ。土方さん」

今、沖田隊長が話しているのはひじかた あやね土方彩音。新撰組副長。鬼の副長と呼ばれている。

「ったく。路上駐車が増えやがって…」

「はは…。そうだね…。副長も見回り？」

私も会話に入った。

「そう。近藤さんに言われた。でも、もう終わりだな。」

「土方さんもか。」

「一緒に帰りましょう」

新撰組屯所に帰ると。

「おつ。お帰り!!」

と言われた。

この人は新撰組局長、こんどう ひなた近藤雛受。

「「「ただいま。」」」

「なんかあつたか？」

「ん？詩諳ちゃんの見回りしてたら、詩諳ちゃんが路上駐車見つけた。」

「っで。琴つちが注意した。」

私は言った。

実は、新撰組の人は皆仲がいい。

あだ名で呼んでる人が結構いる。

でも、新撰組としての自覚と侍としての意志から、局中法度をつくり、その中に『屯所以外であだ名で呼ぶべからず。』とある。

ちなみに局中法度を破ると切腹だ。

「ふわあゝ…ねみいゝ…。」

彩ちゃん〓副長は、鬼の副長と呼ばれてるにかかわらず、屯所ではロリっ子と呼ばれている。

そのことは、新撰組の人以外は誰も知らない。

「彩、寝てくるゝ…」

そう言い、彩ちゃんは欠伸をしながら部屋に行った。

一話 山崎詩諳目線（後書き）

どうだったでしょうか？

登場人物の紹介をさせてもらった一話でした。

いきなりだったので、話がわかりにくいかもしれません…。
ホントにすみません…

だんだん、わかるように頑張っていきます！！
コメントやリクエストをくれたら嬉しいです。
これからもお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7360o/>

新撰組

2010年11月6日02時32分発行